臺灣日日新報（夕刊）
（第二頁）（京城配達）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和七年九月二十八日
九月二十七日
夕刊定価一部五銭
發行兼編輯人　前野間吉
臺北市榮町四丁目三十二番地　臺灣日日新報社
發行所
臺北市榮町四丁目三十二番地（電話一〇〇五番）
臺中市錦町一丁目（電話二〇二番）
臺南市港町一丁目（電話一〇八五番）
花蓮港支局
臺南支局
臺中支局
大阪支局
東京支局
（コタカビルディング内）
大阪市西區靱南通一丁目
東京市京橋區銀座三丁目

松方、リ氏間に締結の日露石油契約の内容

協定は依託販賣の契約で
日本は損失負擔の危險を負はぬ

【電通二十七日發】二十七日モスクワに於て松方幸次郎氏とソヴエート石油聯合會聯盟會長リアポウオル氏との間に締結された日露石油契約の内容は二十六日電報入電に依ると協定は依託販賣契約で日本側は損失負擔の危險を負はないものである、契約の主なるもの

一、日本主要都市五ケ所に日本側費用でタンクを建造す
一、之に對しロシアはバクーより精製油を輸送す
一、輸送運賃關稅はロシアの負擔とす
一、日本は賣上に對し手數料を受取る
一、賣上清算は販賣後一ケ月とし繼續して行ふる
一、輸入數量は年十萬噸位とし長期に亙り繼續して行ふる

尚日本側は從來日本石油小名濱製油所二十二萬の外アメリカのスタンダード、イギリスのライジングサンの六吐あり強烈な競爭を續しつつあつたが協定成立した爲ロシア石油の北進となり今後從來石油を獨占化するであらうと見らる

今後の努力と活動で非難を沈默せしめん

ポリチス議長の挨拶

【ゼネバ二十六日發電通】總會議長に選擧されたポリチス氏は議長としての如き就任の挨拶をなした

國際聯盟の今後の努力と活動に對する世界の非難を沈默せしめんことを希望して

副議長選擧

長岡大使も當選

【ゼネバ二十六日發電通】國際聯盟第十三回總會第一日第二次本會議は二十六日午後五時四十分より ゼネバ市立劇場に開會總長ドラモンド事務局長ポリチス外相ポリチス氏五國の特別委員會長より經過報告書を提出し總會は之に對し討議を行ひ次で副議長選擧に入つた

日本代表長岡大使三十四票

總會は十日位

【ゼネバ二十六日發電通】第十三回國際聯盟總會は愛爾蘭提出の聯盟規約第十五條改正案の審議を終り次回は二十七日午後總會に決し大體三十分散會

【ゼネバ二十六日發合】本日開會された第十三回聯盟通常總會午後の會議は議長選擧で日本代表長岡大使は四十八票中三十四票の多數を獲得して副議長に當選した

陸軍省八年度豫算

新規要求額內譯

癈兵優遇實施費も計上

【東京二十六日發電通】陸軍省從來の慣例に從ひ豫算要求額の內譯を發表したが今回は左の通り

恩給費	六百十七萬餘圓
賞與金	八十四萬餘圓
土地物件費	四百六萬餘圓
營繕費	百二十萬餘圓
陸軍省	五十四萬餘圓
陸軍兵學校	四萬餘圓
陸軍士官學校	四萬餘圓
陸軍幼年學校	四萬餘圓
陸軍經理學校	四萬餘圓
陸軍獸醫學校	四萬餘圓
陸軍航空本部	四萬餘圓
陸軍科學研究所	四萬餘圓
陸軍測量部	四萬餘圓
陸軍造兵廠	四萬餘圓
陸軍被服廠	四萬餘圓
陸軍火藥廠	四萬餘圓
陸軍兵器本廠	四萬餘圓
陸軍糧秣本廠	四萬餘圓
陸軍軍馬補充部	四萬餘圓
陸軍軍馬補充本廠	四萬餘圓
陸軍軍馬補充廠	四萬餘圓
陸軍軍馬補充分廠	四萬餘圓
陸軍軍馬補充出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所出張所出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所出張所出張所出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所出張所出張所出張所出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所出張所出張所出張所出張所出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所	四萬餘圓
陸軍軍馬補充支廠分廠支出張所

無人の境を往く如く 西藏軍前進また前進

舊領土の回復を圖る

【北平二十六日發電通】西藏軍は無人の境を往く如く既に西康に進入せるもの既に十萬に達したが中央軍は康定に劉文輝の率ゐる一師、王樹に一師、雲南北方に一師ありて之を防止せんとしてゐる、而して西藏軍は某國の背景をもつて北は青海の王樹、東は四川の西部、南は雲南の中央に及ぶ舊領土を回復し大西藏を建設せんと意氣衝天の勢を示してゐるが西南の風雲は益々急を告げてゐる

郷軍滿洲移民團 來月初めに渡滿

現役歩兵に準じて武裝し 移住地は哈市の東北方

【東京二十七日發電通】拓務、陸軍兩省當局者會合の上、滿洲移住の在郷軍人を以て組織する武裝移民團を編成することに決定したが、第一回は明年三月(一人當り四百圓)に二百名を以て一團とし、移住地は哈爾濱より北方約百粁に移住し、百名の移民團と同一地點の下に置くことになつてゐるが、移住者は在郷軍人中より身體強健、思想堅實、且つ射撃の上手なるもの二百名を選抜し、一團二十五名宛四團(一人當り四百圓)に編成し、一團毎に引率者一名を附し、移住地に到着後は一團毎に一小部落を形成し、團長は移住者中より適任者を選ぶことになつてゐる

【東京二十七日發電通】拓務、陸軍兩省當局者會合の上、滿洲移住の在郷軍人を以て組織する武裝移民團を編成することに決定したが、第一回は明年三月(一人當り四百圓)に二百名を以て一團とし、移住地は哈爾濱より北方約百粁に移住し、百名の移民團と同一地點の下に置くことになつてゐるが、移住者は在郷軍人中より身體強健、思想堅實、且つ射撃の上手なるもの二百名を選抜し、一團二十五名宛四團(一人當り四百圓)に編成し、一團毎に引率者一名を附し、移住地に到着後は一團毎に一小部落を形成し、團長は移住者中より適任者を選ぶことになつてゐる

一、移住する在鄉軍人は弘報八仙筒第二、宇都宮第十四の三師團管下歩兵中隊、騎兵、山砲、工兵中隊の如くである

二、移住者は在鄉軍人中より身體強健、思想堅實、且つ射撃の上手なるもの二百名を選抜し、一團二十五名宛四團に編成し、一團毎に引率者一名を附し、移住地に到着後は一團毎に一小部落を形成し、團長は移住者中より適任者を選ぶことになつてゐる

馬占山殲滅戰の 賜天勇士の遺留品

我勇士の遺留品 富岡上等兵の餘榮

【東京二十七日發本社特電】陸軍省當局は昨日發表した馬占山殲滅戰にかける我軍勇士の遺留品たる時計、軍刀、軍人勅諭、手帳、日記、軍人手帳、軍旗、軍服、軍帽、靴、水筒、雨具、天幕、銃剣、銃、弾薬、手榴弾、鉄兜、防毒面、地圖、双眼鏡、携帯口糧、携帯天幕、携帯鍋、携帯天幕、携帯鍋、携帯天幕、携帯鍋

漫畫 お月樣 (2)

志乃田廸司作

清水三重三畫

大八車 (三)

「成程、さうきから萬さが居ない」
「さうさと行つて來い！」
「よし來た」
と、いい氣持で毛脛をまる出しにして潜り出した。

「萬坊にも困つたもんだ」
喜助は獨語した。
平太が「へへへ」とお世辭笑ひをした。
「大將の身内だから頭腦はいいかね」
喜助はそれに應へず立つて門にその間を、多勢の子供人かどしどし通つた。
向ふから、鍋燒をして來た。
すつ飛んで來た。
「やつやよる〜！」
と喚しさうだ。

「何？」
「引きずつてなんか來られるものか、大將！萬さは關東の國に歩つて行きを出して居るぞ」
「うゝむ」
「でその大將、萬さ、驅かぬ密ですぜ、すゝ、すばらしいのが居りますぜ」
「何が——」
「女さ、萬公の前に、とても別嬪！」
次十、首を縮めて、くすり、と笑つた。

「さうさ歩行があつたさうだぜ」
「駄洒落！」
と聞き覺した喜助、顏が青くなつた。
「何と云つても萬さは駄洒落好きだからな」
「うむ」
喜助は唸つて、
「萬坊、何處へ持つてたかい？」
「何もあるものか」
次十が投げつけるやうに叫んだ
「それやア！」
「大將、腰の兵糧さ」
平太が云ふと、それに應じて。
「何しろ、ニビの萬さ、だからなはははは」
次十は、此の時とばかり溜飲して先刻の仇を討つたつもりである喜助は、次十をちらりと見んだ。
「次十、一と走り行つて來い」
「へえ」
「酒呑んで、又、女郎にかゝると承知せんぞ」
「へへもう一生やりませんよ」
「嘘つけ」
「ごもつともで——」
「仕様のない奴だなつさと行け」
「行つて連れて來るんで すかい」
「あたりまへさ、男たら、引きずつて來い！」
「へえ、あれで萬さ、なか〜引

二十四時間

「食」の名にふさはしい 快作である

パラマウント一九三一年作品

監督　マリオン・グーリング
俳優　クライヴ・ブルック
　　ミリアム・ホプキンス
　　ケイ・フランシス

午後十一時から翌日の午後十一時迄の出來事、それもニューヨーク市の上流社會の一部、更に限定すれば名門の出であるジムと彼の戀人ファニイの二十四時間の生活及心理を濃密的に描寫したのがグーリングの「二十四時間」である。グーリングは當時に、そして常に此の作品を物してゐる「二十四時間」の點は其處に徹底してゐる點にすぎない。興味に從つてゐるだけに常套的興味に乏しい。例へばナイト・クラブの踊り子、ギャングの一味、貴人事件等を取に繰り込んでゐるにしても、けれども其れは決してグーリングを期待するファンにはならない。ただ總を言へば、素描方法のみの作品である。

×　×

クライヴ・ブルックはあの澁い風で力を示してゐるが、かつて「素描方法の惡魔」の異名をなしてゐるのではあるまいか、ロジイ（ミリアム・ホプキンス）の死體は美しく印象的である。そして此の「二十四時間」は完全に監督手法の作品である。グーリングのみの作品である。

私の殺した男

パラマウント一九三二年作品

監督　エルンスト・ルビッチ
俳優　ライオネル・バリモア
　　フィリップス・ホームズ
　　ナンシイ・キャロル

漢文臺灣日日新報

鄉軍滿洲移民團

來月上旬渡滿約四百名

給武器使武裝遇匪得自擊退

二十七日東京電。指揮。陸軍兩省。與關東軍聯絡。謀以在鄉軍人。組武裝移民團。送之滿洲。要其後援警戒。約二十萬圓（二人四百圓）。提案臨時議會。求其協賛。一面於滿國。山形縣市。及茨城等。更爲講習。大體已完。而統計我亦成。訂來月上旬渡滿。該人員約四百名。與奉山高等國民學校。移住北大營附近百名之移民團。同時一統制之下。移住內容如左。

一、移住在鄉軍人。以前第八。仙臺第二。宇都宮第十四。三師團管下。即青森。秋田。山形。福島等。茨城。栃木。群馬九縣下成績優秀。滿三年。滿以下。務擇獨身者。各縣平均選拔四五十名。

二、移住地。哈爾賓東北方地區。

三、二人支給十五町地。使參機械農業。

一、移住民。二箇年間。不得家族。

一、移住民。照現役步兵。准之武裝。支給輕機關銃。小銃。短銃。彈藥。

一、移住者五百名。組織一大隊。又每百二十五名。別四中隊。更編成十二小隊大體以上。統布匪賊掃撃。得以自力撃退云。

本島治水事業

決定根本具體策

督府開局長會議

總督府局長會議。二十六日午前十時。開于府內長官公室。平塚長官。鷹內交通局總長。小濱內務。殖田殖產。友部警務。安武教育局長。能澤審議事務官。等出席。先就治水問題。願本島治水事業雖見施行。而未徹底。故每年受慘害。然其根本的徹底的。其將如何而行。協議之條。決定左記各項。

一、急傾斜地開墾制限或禁止（註）第一條爲保安林指定。

一、雖得增加生產額。然不一旦出水時。所失尤巨。此有制限。或禁止必要。而其實行。臺灣森林令第五條。有此規定。

一、受河川法適用之各河川。所謂于二十五大河川各集各區域內造林。增大保水力。現在殖產局。固有森林計畫。而對施業案之編成實施。特加考慮。

三、番人之伐木指圖。務使一切機關。使爲徹底周知。照以上諸法。此後棄督府頭交換意見。督府首腦部與保各部局。徹底的努力。對本問題。隨應度。以實行之。分掌規定中。無何等規定所揭目的。認爲必要時。于保安林以外森林之開墾。得以制限或禁止（註）第一條爲保安林指定。

一、斜地開墾制限或禁止。如芭蕉植于傾斜地。雖得增加生產額。然不一旦出水時。所失尤巨。此有制限。或禁止必要。而其實行。臺灣森林令第五條。有此規定。

一、急傾斜地開墾制限或禁止。如芭蕉植于傾斜地。雖得增加生產額。然不一旦出水時。所失尤巨。此有制限。或禁止必要。而其實行。臺灣森林令第五條。有此規定。

一、急傾斜地開墾制限或禁止。如芭蕉植于傾斜地。雖得增加生產額。然不一旦出水時。所失尤巨。此有制限。或禁止必要。而其實行。臺灣森林令第五條。有此規定。

問題。不能旋棄。然內務之治。水事業。經得具體策。漸早就緒。

瓦斯所管

交換意見

晤時兩局合議

是日局長會議。更就瓦斯所管問題。交換意見。同問題自前殖產交通兩局。提出意見書。在審議室作。然因此未定。殊不能使一致。當日僅爲交換意見。不能提先例。全然無成見。然爲此後本局瓦斯事業發達。屬何所管。爲議論之點。蓋瓦斯事業。考慮探揣。供給。當局三點。就此三點而言。一如內地。屬于殖產局所管爲便。乃案目所見。唯問題中心外。臺灣電力會社有（本會社暫時辦理瓦斯）之規定。爲議論點者。因是恐見不一致。當日僅爲交換意見。

金塊大密輸團連絡

刑事課積極活動

州下金銀細工店

全部與密輸案

自下既達五十餘箇所。檢舉市內二十四日。續檢舉。市內永樂町三丁目二十二番地金銀細工店陳得勝外二名。二十五日午前八時。檢舉市內大橋町金銀細工店李清泉。其後再檢舉大正町居住。前總督府技手。現任臺灣炭業組合代表者近江藤次郎氏。二十六日午前十時。於山海關驛。設警戒線。檢查旅客手荷物。嚴重檢查。山海關分館。開始徵稅。中國亦設秦皇島海關山海關辦事處。與滿洲海關。只挾一鐵路相向。爲使一般住民徹底。自九月十五日起。每夜在各區域寫生映寫。並爲期萬全之效。自二十五日。至二十九日。五日間。在臺北市內。實施防空演習。使之知悉左記事項。

一、空襲開始。以汽笛或警鐘。

一、燈火管制。

一、交通遮斷。

一、消防。

一、救護。

一、防毒。

一、防砂工事。斯關係算水害親察結果。高雄爲急務之治。水事業。經得具體策。漸早就緒。

中川總督

視察角板山

中川總督。于二十八日。午前九時。乘臺車出發。途中觀察三井製茶工場。十一時二十分抵角板山。午後二時發。五時四十分到大溪。同六時再驅自動車途歸北。

市內腸疫

島人居多

北區開家長會

臺北市內腸窓扶斯。既如前報。北署管內。本島人居多。衛生係。乃由州刑課指之下。協議結果。爲使一般住民徹底。自九月十五日起。每夜在各區映寫衛生映寫。並爲期萬全之點。設臨時經濟更生部。東京消息。政府定例閣議。二十六日午後二時開會。決定農林省設臨時經濟更生部之件。人事異動。二十七日。合決如左。

農務局長　小平　權一
任經濟更生部長
米穀部長　長瀨　貞一
任農務局長
米穀部應務課長　安井　正太郎
任米穀部長　連見

中川總督

視察角板山

中川總督。于二十八日。午前九時。乘臺車出發。途中觀察三井製茶工場。十一時二十分抵角板山。午後二時發。五時四十分到大溪。同六時再驅自動車途歸北。

臺北祀孔典禮

總督軍司令官參拜

儀禮誰需祀事孔明

臺北聖廟。廿二十七日午前六時。崇聖祠致祭。聖祖主祭。陳春鄰氏。贊禮。陳廷植。黃智鈞。分獻。張華陽氏。吳傳經諸氏。如儀致祭。六時四十分禮成。七時慣大鼓。樂神。整肅衣冠參謁。八時敦初獻。祭事係員入場。鼓平。一般與祭入場。鼓止。主祭官讀祝文。讀畢。主祭官行初獻禮。樂奏。宣平之章。俯伏興。宣平之章。分獻官各行分獻禮。樂止。主祭官讀祝文。讀畢。主祭官行亞獻禮。樂奏。佚平之章。分獻官入場。鼓平。一般與祭入場。鼓止。主祭官讀祝文。讀畢。主祭官行終獻禮。樂奏。佚平之章。俯伏興。平身。主祭官中。獻官。執事者各司其職。分獻官東配西澤軒。分獻官東配西澤軒。西配翠嶺會長。東廡李種玉。贊士。西廡謝汝銓。茂才。各就位。謁先

臺灣日日新報
夕刊二十頁
本社印刷　北署　折行澁
電話新日日ぜ文

小林一三

別特輯

◆誌界隨一の創作欄◆

◆時事問題◆

政黨政治の末路　田中正夫

無線電信隊の悲び出　城戸南士

海軍々樂隊の S.O.S　藤吉口

鶴澤叶の聞き敵討　長谷川伸

◆物語◆

父の寢園系圖　井伏鱒二

母と子　田畑修一郎

◆隨筆◆

◆人間座談會◆

◆文藝講座◆

◆家庭講座◆

◆婦人講座◆

◆學生と試驗◆

◆小説◆

◆讀物◆

◆漫畫◆

◆寫眞◆

◆懸賞募集◆

◆文藝講座◆

理窟と小說について　河上徹太郎

新聞紙匿名批判　ES LV MC

ラヂオ匿名批判　柳瀨眞逸

人物評トコロ〴〵　伊東銳太郎

明石大將レーニン　伊集院齊

最後通牒提出前後　濱本浩

古の幻

座談會　特價五十錢

東京市麹町區內幸町大阪ビル
振替東京一六二〇番
文藝春秋社

學生と試驗

●定價六十五錢●郵送料三錢●

十月特大號の實行果然壓倒的白熱化す!!

本誌創案誌上入學大試驗を開く

本試驗は受驗雜誌界最初の快擧、本誌の獨創的企劃にして、全科目は之を高等學校入學試驗に準じ、試驗用紙は之を第一高等學校本年度施行のものに模し、以て本試驗をして實際入學試驗を受けしむるの感あらしめたり、實力の檢討、試練の好機逐に來る、榮冠を狙ふ者よ、來り投じて牙城を陷れよ、

出題及採點者

（英語）清野暢二郎　（數學）福上二郎　（國漢）森本杉雄　（歷史）藤崎俊茂　（化學）江見節男

大懸賞附誌上實習入學大試驗　締切十月十日限

昭和八年度入學試驗豫備練習問題

昭和八年入學試驗豫備問題は、諸君の目的學校の試驗官諸氏が出題せるものにして英、數、國、漢四科目にわたる百五十題。何れも精選されつくした好問題、之が排列には本誌獨特の工夫を凝らせるもの、此の活用こそ正しく明年堅壘突破への金剛力を與へることを茲に保證す、燈火可親の候、切に御必讀をこふ!!

書店に賣切れの際は本社營業部宛に、直接御注文を願ひます。

東京麹町區富士見町
振替東京二八六〇一
研究社

臺灣日日新報

夕刊二十頁
本社印刷　北署　折行澁
電話新日日ぜ文

好評噴々・賣れ行き最も多き名著

十六版

西式鍼手療法と保健治病法　西勝造氏著　定價壹圓八拾錢送料拾四錢　五百餘頁　色刷口繪六葉

西式の核心である六大法の驚行法とその理論を説き、觸手の基礎をなす十六操作法を凡て寫眞入にて述ぶ。百七拾餘の各種疾病の治療法設示

相馬御風氏著　定價壹圓參拾錢送料八錢　三百餘頁　色刷口繪參葉

俳聖一茶さんの圓熟な一生の物語を、面白く、脫いた境地と意味と、一茶二萬の句中より童心俳句四百數十句を收めたもの家庭讀物として絕好

忽重版

一茶さん

新潟戸稻造博士著　偉人群像（世界各國に活躍しつゝある偉人を論述）　一一版　一七版　二〇〇　一〇　一二

新潟戸稻造博士著　東西相觸れて　偉人群像の姉妹篇　一七版　二〇〇　一〇　一二

新潟戸稻造博士著　修養　不朽の大名著　世界的修養書　一六版　一七〇　一〇　一二

新潟戸稻造博士著　世渡りの道　修養の姉妹篇　九一版　一七〇　一〇　一二

日露戰爭仙臺關連　鍊膽術　渡世に必要なる膽力修養を說く　六七版　一三　一〇　一二

實業之日本社編輯局編　裸一貫から　財界巨人訪問　三三版　一七〇　一〇　一二

長井玉堤句報主任　俳句の作りやう　入門書　一二版　一七〇　一〇　一二

細貝正邦學士著　經濟記事の讀み方　一二〇版　一七〇　一〇　一二

有本前實業之日本編輯長著　利殖と金儲の近道　一二版　一七〇　一〇　一二

阪多早大教授監修　モダン用語辭典　二七版　一七〇　一〇　一二

馬島ドクトル著　母よ賢明なれ　避妊法の實際的指導　一五版　一七〇　一〇　一二

遠藤海援保業院長　療養新道　改訂增補　結核療養　二一版　一八〇　一〇　一二

杉本東邊博士著　胃腸の新しい衛生　一八版　一八〇　一〇　一二

森田正馬博士著　神經衰弱と強迫觀念の根治法　二一版　一七〇　一〇　一二

佐多芳久博士著　腦溢血の豫防と治療　八版　一七〇　一〇　一二

北堂東京高師前教授著　國史美談（上中下）　各冊　一七〇　一〇　一二

熊崎五雄閣主著　速命判斷　姓名の神秘　二一版　一七〇　一〇　一二

山田鈴香氏著　速命判斷　生れ月の神秘　三九版　一七〇　一〇　一二

高濱虛子氏著　俳句の作りやう　八二版　一七〇　一〇　一二

佐々木信綱博士題　九條武子夫人書簡集　一九版　一七〇　一〇　一二

九條武子夫人著　麗人歌篇　薫染　（薫染帖姉妹篇）　四〇版　一七〇　一〇　一二

二百六十版

普及版 無憂華　九條武子夫人著　定價壹圓　送料拾錢　內容美裝函入

九六版

改訂增補 青年と修養　實業之日本社長　增田義一氏著　定價壹圓　送料拾錢　內容美裝函入　十五日迄實業之日本社發行

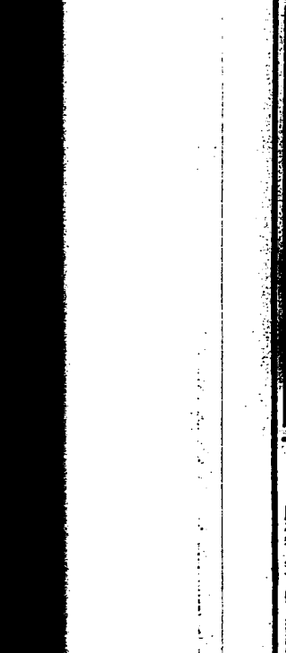
圖書目錄進呈　東京市麹町區西一丁目　實業之日本社發行

●齒痛に頭痛はガオガンで直る●

森永煉乳株式會社
東京・芝・田町

「新鮮な森永ミルクを母乳と一緒に飲むやうになつてから坊やは目に見えて肥つてきました！」……とは近頃方々でよく聞く言葉です。森永ミルクだけで立派な健康兒になつた赤ちやんが、日本中に澤山居られるのですから母乳と森永ミルクとの併用が、著しい効果を顯はすのは當然でありませう

關申込次第育兒に關する小冊子進呈



保證附火災海上運送保險引受
運賃別途
神戸・大阪・名古屋・東京・横濱

森永ミルクチヨコレート

世界的強力消化素　タカヂアスターゼは衰退せる胃腸の消化機能を振起し榮養を吸收し體重を增加せしむ。從つて消化不良及び消化の催進により治癒を促し、榮養の增進を圖る必要ある胃腸病、結核其他の慢性諸症に廣く愛用推奬せらる（說明書呈呈）

株式會社　共同製藥所
東京・阿部・三共

保證附火災海上運送保險引受
運賃別途
神戸・大阪・名古屋・東京・横濱

●株式會社日本勸業銀行（東京）昭和七年九月廿六日　金四百萬圓　一割ノ拂込ヲ了シ殘額全額拂込濟　●株式會社第一銀行（東京）昭和七年九月廿六日　金四百萬圓　一割ノ拂込ヲ了シ殘額全額拂込濟　●株式會社第百銀行（東京）昭和七年九月廿六日　金四百萬圓　一割ノ拂込ヲ了シ殘額全額拂込濟　

報告書の日本側副本
八氏が携へて渡日
二十九日内田外相に手交して
来月二日東京、南京で發表
最終的解決は日支直接交渉

【北平二十七日發電通】リットン報告書の日本側副本は二十五日上海發神戸に向つた聯盟政治部副部長バスチボフ氏が携へ日本に向つたが、二十九日外相に手交される筈、尚支那側への第二副本は上海英國總領事館の手を經て二十九日羅文幹氏に手交され二日東京及南京で祕密の蓋が開かれることとなつた

【東京二十七日發電通】聯盟に於けるリットン報告書の總括的解決は人物本位に非ずして日滿の合辦會社と滿洲國を日本の保護國とするは不可

二、滿洲國を日本の保護國とするは不可

三、滿洲を事件前に復歸せしむるは不可

【東京二十七日發電通】聯盟に於ける滿洲問題解決の眼目は滿洲國の國際的地位の問題にあるが、日本は滿洲國を日本の保護國とするは不可とし、又滿洲を事件前に復歸せしむるは不可とし、滿洲國の獨立を認めた上で滿洲に於ける日本の權益を擁護しようとするものである。

二、日本の滿洲併合不可

一、滿洲を事件前に復歸せしむるは不可

【東京二十七日發電通】聯盟に於ける滿洲問題解決の眼目は滿洲國の國際的地位の問題にあるが、日本は滿洲國を日本の保護國とするは不可とし、又滿洲を事件前に復歸せしむるは不可とし、滿洲國の獨立を認めた上で滿洲に於ける日本の權益を擁護しようとするものである。

英内閣の閣僚
近く一部辭職か
注目さる
成行き注目さる

傳染病豫防國際會議
明春日本で開催へ

【東京二十七日發電通】來年度の傳染病豫防國際會議は明年四月日本で開催するに決定し內務省衛生局は豫算五千圓を計上した。尙從來屢々不參をつゞけた我國の海港防疫施設の完備を期し國に知識に訴しその調査を斷行することとなつた

買上產金を
米國に現送

【東京二十七日發電通】政府は二十七日神戸發の春洋丸で四百萬圓を米國に向け第四回の現送をなした。之で累計五千七百二十萬圓である

閣僚兩院議員
軍艦愛宕」に便乘
最新艦の戰技訓練視察

【橫須賀二十七日發電通】新艦「愛宕」に乘り組む兩院議員一行は二十七日午後三時半橫須賀に入港した。一行は內田、小山兩海軍次官及び兩院議員其他百五十餘名で二十七日午前七時四十八分東京發橫須賀着、直ちに「愛宕」に乘り組み、最新艦の戰技訓練を視察した。

臺北州農業傳習所
專任所長任命
島田彌市氏と決定

臺北州農業傳習所專任所長には從來農事の發達を目的として設立された臺北州農會傳習所長三十餘名の生徒を訓育し、所長は島田彌市氏に決定したが、同氏は多年殖產局に在職し、農事に關する學識經驗が豐富であるので、今回の適任者として白羽の矢を向けたものである。同氏としては其任に非ずと固く辭したけれど懇請もだし難く就任した次第で今後多大の期待を寄せられてゐる

退營兵の
離臺期

臺灣民營工廠の勞働者は左の如く臺北聯隊區司令部の徵集解除となつた

△臺灣步兵第一聯隊(百五十名)十月九日午後三時五十分臺北着、十一日午後三時五十分臺北發

△臺灣步兵第二聯隊(百八十名)十月十一日午前十一時五十分臺北着、十二日午後三時五十分臺北發

△臺灣步兵第三聯隊(百四十名)十月十一日午前十一時五十分臺北着、十二日午後三時五十分臺北發

△臺灣山砲兵大隊(百二十名)十月十八日午前十一時五十分臺北着、十九日午後三時五十分臺北發

△臺灣步兵第一聯隊(百四十名)十月十一日午前十一時五十分臺北着、十二

◇△◇兇蕃を訪ねて◇▽◇

【上】關山驛近傍ミナオバラン湖で標高八千五百尺の山巓にいとも靜かに神秘を湛へてゐる【下】同ミナオバランの湖畔である、山の下の湖畔驛來る廿三名が招聘された理由で、この靜かな湖のほとり、山のほとりにこんな血腥い事件が突發しやうとは誰

愈々店開きする 小額補償融資

申込既に廿二萬圓突破

【臺南電話】二十七日午後七時現在臺南州新豐郡本部管轄各役所有の農村救濟小額補償融資申込數は一萬二千五百餘件、金額にして二十二萬圓餘に達し、尚ほ日々數百件の申込があるので、同郡當局では更に一萬圓を追加申請する筈である

【臺南電話】臺南州新豐郡本部管轄各役所有の農村救濟小額補償融資申込數は一萬二千五百餘件、金額にして二十二萬圓餘に達し、尚ほ日々數百件の申込があるので、同郡當局では更に一萬圓を追加申請する筈である

トラック突撃！ 商品臺 柱 雨戶を粉碎

人力車二臺をハネ飛す

臺南市大宮通の椿事

【臺南電話】二十七日午後七時頃臺南市大宮通一丁目一番地先路上に駐車中の臺南市新町一丁目一三林綠俊（二七）の人力車二臺に衝突したが幸ひに人命に何等の異狀はなかつた、尚ほ詳細は左の如し

同日午後七時頃臺南市大宮通一丁目一番地先路上に駐車中の臺南市新町一丁目一三林綠俊（二七）の人力車二臺に衝突したが幸ひに人命に何等の異狀はなかつた、尚ほ詳細は左の如し

臺南市大宮通一丁目一番地先路上に駐車中の臺南市新町一丁目一三林綠俊（二七）の人力車二臺に衝突したが幸ひに人命に何等の異狀はなかつた、尚ほ詳細は左の如し

臺及び柱、雨戸等を破壊し更に附近に居合せた大宮町二

ラヂオ欄

今日の番組

J.F.A.K
九月廿八日(水)

午前の部

【六・〇〇】朝の挨拶(ハラヂオ體操)【六・一〇】天氣豫報【六・二〇】時報【六・三〇】朝の音樂(蓄音機)【七・〇〇】時報【七・〇一】ラヂオ體操【七・二〇】ニュース【七・三〇】朝の音樂(蓄音機)【八・〇〇】時報【八・〇一】ニュース【八・二〇】家庭婦人講座【八・三〇】料理の話【九・〇〇】時報【九・〇一】ニュース【九・二〇】家庭婦人講座【九・三〇】音樂(蓄音機)【一〇・〇〇】時報【一〇・〇一】ニュース【一〇・二〇】家庭婦人講座【一〇・三〇】音樂(蓄音機)【一一・〇〇】時報【一一・〇一】ニュース【一一・二〇】家庭婦人講座【一一・三〇】音樂(蓄音機)【一二・〇〇】時報【一二・〇一】ニュース【一二・二〇】天氣豫報【一二・三〇】音樂(蓄音機)

午後の部

【一・〇〇】放送局報知ニュース【一・〇一】時報【一・二〇】天氣豫報【一・三〇】音樂(蓄音機)【二・〇〇】時報【二・〇一】ニュース【二・二〇】天氣豫報【二・三〇】音樂(蓄音機)【三・〇〇】時報【三・〇一】ニュース【三・二〇】天氣豫報【三・三〇】音樂(蓄音機)【四・〇〇】時報【四・〇一】ニュース【四・二〇】天氣豫報【四・三〇】音樂(蓄音機)【五・〇〇】時報【五・〇一】ニュース【五・二〇】天氣豫報【五・三〇】音樂(蓄音機)【六・〇〇】時報【六・〇一】ニュース【六・二〇】天氣豫報【六・三〇】音樂(蓄音機)【七・〇〇】時報【七・〇一】ニュース【七・二〇】天氣豫報【七・三〇】音樂(蓄音機)【八・〇〇】時報【八・〇一】ニュース【八・二〇】天氣豫報【八・三〇】音樂(蓄音機)【九・〇〇】時報【九・〇一】ニュース【九・二〇】天氣豫報【九・三〇】音樂(蓄音機)【一〇・〇〇】放送局報知ニュース【一〇・一〇】音樂(蓄音機)

夜間の部

【七・〇〇】音樂(蓄音機)未定【七・一〇】ラヂオ講座(蓄音機)【七・二〇】講演(蓄音機)【八・〇〇】時報【八・〇一】ニュース【八・二〇】天氣豫報【八・三〇】音樂(蓄音機)【八・四〇】講演(蓄音機)【八・五〇】ヴァイオリン獨奏(山崎良衛)【九・〇〇】時報【九・〇一】ニュース【九・二〇】天氣豫報【九・三〇】音樂(蓄音機)【一〇・〇〇】時報【一〇・〇一】ニュース【一〇・二〇】天氣豫報【一〇・三〇】音樂(蓄音機)【一一・〇〇】時報【一一・〇一】ニュース【一一・二〇】天氣豫報【一一・三〇】音樂(蓄音機)【一二・〇〇】時報【一二・〇一】ニュース【一二・二〇】天氣豫報【一二・三〇】音樂(蓄音機)

晝間娯樂時間

【午後零時二十分】(臺北)

▲浪花節　一、屋小倉次郎吉

一、屋小倉次郎吉　日吉川秋水

日吉川秋水　天川軒月旗

【一・〇〇】蓄音機(流行歌)

【一・三〇】蓄音機(舞踊)

【二・〇〇】蓄音機(浪花節)

【二・三〇】蓄音機(講談)

【三・〇〇】蓄音機(浪花節)

【三・三〇】蓄音機(講談)

【四・〇〇】蓄音機(浪花節)

【四・三〇】蓄音機(講談)

【五・〇〇】蓄音機(浪花節)

【五・三〇】蓄音機(講談)

【六・〇〇】蓄音機(浪花節)

【六・三〇】蓄音機(講談)

【七・〇〇】蓄音機(浪花節)

【七・三〇】蓄音機(講談)

【八・〇〇】蓄音機(浪花節)

【八・三〇】蓄音機(講談)

【九・〇〇】蓄音機(浪花節)

【九・三〇】蓄音機(講談)

【一〇・〇〇】蓄音機(浪花節)

【一〇・三〇】蓄音機(講談)

【一一・〇〇】蓄音機(浪花節)

【一一・三〇】蓄音機(講談)

【一二・〇〇】蓄音機(浪花節)

【一二・三〇】蓄音機(講談)

▲浪花節　一、屋小倉次郎吉

一、屋小倉次郎吉　日吉川秋水

日吉川秋水　天川軒月旗

【一・〇〇】蓄音機(流行歌)

【一・三〇】蓄音機(舞踊)

【二・〇〇】蓄音機(浪花節)

【二・三〇】蓄音機(講談)

【三・〇〇】蓄音機(浪花節)

【三・三〇】蓄音機(講談)

【四・〇〇】蓄音機(浪花節)

【四・三〇】蓄音機(講談)

【五・〇〇】蓄音機(浪花節)

【五・三〇】蓄音機(講談)

【六・〇〇】蓄音機(浪花節)

【六・三〇】蓄音機(講談)

【七・〇〇】蓄音機(浪花節)

【七・三〇】蓄音機(講談)

【八・〇〇】蓄音機(浪花節)

【八・三〇】蓄音機(講談)

【九・〇〇】蓄音機(浪花節)

【九・三〇】蓄音機(講談)

【一〇・〇〇】蓄音機(浪花節)

【一〇・三〇】蓄音機(講談)

【一一・〇〇】蓄音機(浪花節)

【一一・三〇】蓄音機(講談)

【一二・〇〇】蓄音機(浪花節)

【一二・三〇】蓄音機(講談)

晝間娯樂時間

【午後零時二十分】(臺北)

▲浪花節　一、屋小倉次郎吉

一、屋小倉次郎吉　日吉川秋水

日吉川秋水　天川軒月旗

【一・〇〇】蓄音機(流行歌)

【一・三〇】蓄音機(舞踊)

【二・〇〇】蓄音機(浪花節)

【二・三〇】蓄音機(講談)

【三・〇〇】蓄音機(浪花節)

【三・三〇】蓄音機(講談)

【四・〇〇】蓄音機(浪花節)

【四・三〇】蓄音機(講談)

【五・〇〇】蓄音機(浪花節)

【五・三〇】蓄音機(講談)

【六・〇〇】蓄音機(浪花節)

【六・三〇】蓄音機(講談)

【七・〇〇】蓄音機(浪花節)

【七・三〇】蓄音機(講談)

【八・〇〇】蓄音機(浪花節)

【八・三〇】蓄音機(講談)

【九・〇〇】蓄音機(浪花節)

【九・三〇】蓄音機(講談)

【一〇・〇〇】蓄音機(浪花節)

【一〇・三〇】蓄音機(講談)

【一一・〇〇】蓄音機(浪花節)

【一一・三〇】蓄音機(講談)

【一二・〇〇】蓄音機(浪花節)

【一二・三〇】蓄音機(講談)

十七年間に死んだ多くの紳士淑女を慰したが、此の曲が最も多く知られている。彼の作曲十一番である。其に非常に感動的で其の曲で喜ばれてゐる。

二、母の與(宮城道雄作曲)

山崎氏は東京の故郷氏の門下として研究してゐたが、先頃渡米してJ.F.A.K放送局の第一ヴァイオリニストとして活躍してゐるヴァイオリンの名手である。今回の獨奏は今回が初めてである。美妙の音色は一ヴァイオリンの子守唄(ヘルメ作曲)

作曲者ヘルメはブラームスに次ぐチェロ奏者で、特にベートーベンに於ては彼の右に出づる者なしと迄激賞されてゐる。

ヴァイオリン獨奏

山崎良衛

北條(八・五)

伴奏　衛藤高

航空講座

臺北

【午後六時三〇分】

飛行機の第一番として、最も安全で、且つ經濟的であるので、今後から五回にわたって航空局技師高橋百千代氏より航空機と船舶との類似點に就て講演される。

一般人も大に航空思想を涵養する爲め、此の講演會を開催する事になつた。

第一講

航空機と船舶の類似性

交通局技師　高橋百千

童話

「日本一弓引大先生」

宋登才

【午後六時より(臺北)】

先づ第一番に「日本一弓引大先生」と題して宋登才氏が話される。

昔々のおはなしです。ある村に大男住んでゐました。大男はお伊勢參りから歸つた親父さんのお話を聞いて「我も行きたい」と思ひ立ちました。親父さんのお話では「日本一弓引大先生」と言ふ人が、ある山の麓に住んでゐるとの事でした。大男は、その先生の所へ行く事にしました。

物價騰貴

品物の鑑識力養成や

日本の主婦達の急務

―掛買は非常な損です―

東京市西工課長　工藤隆治

物價の問題に關して最も關心を有つ者は、云ふまでもなく各家庭の主婦でなければならない。この上物價騰貴が何時まで續くか、一寸見越しをつけかねるから、今のうちに品物を買ひ溜めて置くことが得策だと買ひ溜めるに就ては、多少なりとも金錢の餘裕の有ることを必要とするから、現在の如き不況時代に於てこれを望ての家庭に期待することは不可能な話である。

それに品物によつては腐敗し易いもの、かつては貯藏の出來ない性質のものも有るそれで、我は此點實に鑑と云ふやうなことよりも、モット根本的に消費者の自覺を喚起したいものと考へて居られないのである、而して消費者の自覺と云ふことは品物に對する鑑識力を養ふことである。

成るべく安く良い品を自分をごまかされ成るべく安く良ふ一くらに云へば、買ひもの上手になることであつて物價騰貴の今日、消費者の中心人物たる主婦が、品物に對する鑑識力を有つやうになつたらば物價對に對する各家庭の關ひは自然に減退されるに到ひない。從に較べると消費者は大分目さめて來て居ることは非常であるる、買ひもの下手の感じとしてはよく、一般買ひつけの商人を極めると、その者以外には目もふれないで、いつでも良好な條件のものを現金で買ふやうにして欲しいものだが、主婦が一市中に買ひ物に出かけると云ふことも、無人の家や何かでは面倒のやうに一寸見ても知つて行くと云ふことが困難な事情もあるし、又現金ひとと云ふことも家庭の事情によつては、云ふべくして行ひ難いものである。そこで我は大體の買ひ方として自家の家に勤りに來る商人たちに、品質、價格、目方などを明瞭させ後此點に關した上で本當の賣買で一番安いと思ふものを成るべく現金で買ふことを勸めたいと思ふのである。現金買ひの利益については、誰でもよく知つて居ることではあるが、個一般その觀念を明瞭にするためゆしく說明を加へておきたい。現金買ひでは時々明げをされる缺れがあるに對する缺きもあるが、又不當の利得を考への點に出ることも、勿論とは云へない、が付け買と云ふやうなことをすると現金買ひの客に對して現金買ひの客よりも少高な品物と買ふのは、當然の利益を多くの顧れを此に入れておく必要があるからである。

萬なかだち

求職一件一四　看四式拾銭　其他一四　登四七拾銭　医師名倍即

貸住宅　モダン建築洋風大玄関附住宅六畳三間半六畳二間半六畳二間　即賃四〇　電三六六番

貸住宅　四山通九軒町電車通一丁目　即賃二〇　電三六六番

貸住宅　四山通九軒町電車通一丁目　即賃二〇　電三六六番

貸家　川端町通新築住宅玄関一戸附六畳二間半　即賃二七〇　非

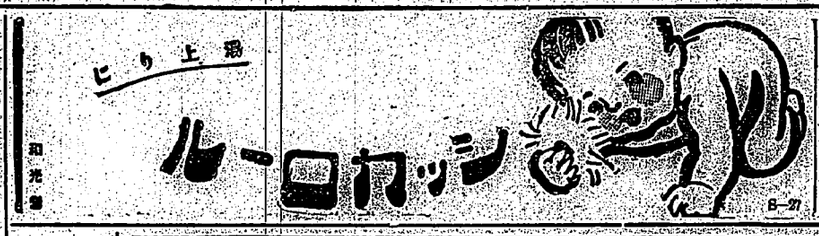
貸家　川端町通新築住宅玄関一戸附六畳二間半　即賃二七〇　非

店員　入用　男女若干名　年齢男子十二歳以上二十歳迄女子十二歳以上十八歳迄　學歴不問　身元確實ナル者　給料ハ男子一ヶ月五圓以上女子一ヶ月三圓以上　食事被服支給　希望者ハ履歴書持參ノ上面會アリタシ　場所　本町二丁目三番地　電話三五一番

外交員　募集　年齢二十歳以上三十歳迄　學歴不問　身元確實ナル者　給料ハ一ヶ月五圓以上　食事被服支給　希望者ハ履歴書持參ノ上面會アリタシ　場所　本町二丁目三番地　電話三五一番

結髪　見習入用　女十六歳以上二十五歳迄　學歴不問　身元確實ナル者　給料ハ一ヶ月五圓以上　食事被服支給　希望者ハ履歴書持參ノ上面會アリタシ　場所　本町二丁目三番地　電話三五一番

恩給　一番安く極力早く取扱ひ致します　即日お手續に御出張も致します　場所　本町二丁目二番地　電話八八番



平常の御用心で脫毛が防げます

食物と睡眠に注意することも大切ですが何といつても良い髪洗ひて度々お洗ひになることが一番肝心です

製洗ひは早く洗へて毛を痛くしない科學的配合に成功した花王シャンプーなら申分ございません

正價一個五錢(六個入三十錢)

綿業連合会評決
操短は順次に
二割五分の生産制限
業界の救世問題
自力更生のために
同業組合設置の能否は
井系の態度から見よう

入九年期日銭補付
月定に二割五分終る

金融機関たれ
事題業氏談

九月中の移出米
昨年の二倍近い盛況

大衆を相手の信組
東北簡易信用組合設立
近く設立の申請

既設組合に阻まる
信組設立の出願

利下を実施
十月一日から
裕福信組でも

一寸集団を注文
綿業の輸入許可量は？

曙光

(115)

生方敏郎作
中野修二畫

蓬萊の夢 (五)

町子の家では、お婆さんはもう床へ入ってしまひ、栄佐子が一人奥の間で小説の翻訳を編んでゐたところなので、天井の眼たちが時を報ずるようにドシン、バタンと通り廻つてゐた。

そこへ町子が春田に送られて入つて来た。

「まあ、ずゐぶん遅だね。皆な眠てるんぢやないかな。」

と、春田は栄佐子の外套をぬいだ。

「栄佐ちやんが起きてゐてくれるでせう。」

といつて。

「姉さん只今。」

と、栄佐子を呼んだ。

栄佐子がスリッパを引きずつて中廊下を来る音がして、やがて中から襖子戸の開く音がした。

「姉さん、あんまり遅くなつたから、先生に送つていただいたのよ。さあ先生、ありがたうございました。」

「まあよく御礼を云ふんですね。姉さんは一人ぢや眠に引かれさうだ。」

と、栄佐子は嬉しさうに春田をにらめた。

二人は暗い廊下を歩きながら、

「ほんとうに今夜は何うしたのか眠が冴えて冴えてやだつたわ。」

と、いつたが、実は、この嬉しさに打ちのめされてゐるのは栄佐子の一人だけなので、さう言つてゐるあひだも、眼は殆んど休まずに輝いてゐるのだつた。

「ニヤオン、ニヤオン。」

と、春田は猫の鳴真似をした。

栄佐子は笑つた。町子は、

「お上手だわ。」

と、ひやかしたが、春田は褒められたと思つて、

「ニヤオン、ニヤーオン。」

「お隣のチョンの真似つくりだわ。」

「嘘いだらう。僕は動物の鳴真似は皆な十八番のつもりだ。猫人にだつて負けやしないぞ。」

「でもチョンの方が上手だわよ。」

「そりや僕は猫さ。チョンは本物の猫ちやないか。」

「まあ、まあ……」

と、栄佐子が笑ひ入れながら矢張りに笹鳴の猫の真似をしはじめた。

このシーズンの一番の呼び物は一日より開催される春田社展は、日本橋○○○に於ける川端町子氏をはじめ総員一同渾々の意気込みを披瀝してゐる。点数も多くない事であるから都合に依つて別に春ね役に就職することにしやう

□

日展(○○○)によつて、都物(春田夏雄)新しい感覚をかいてゐる。那生(○○○○)写実として感心した大きさを持つてゐる。なか〳〵力のこもつた作である。ただ眼はあまり感心しない。海の向日(○○○三)この人の仕事は自分には一番分らん。又船と興味もない。船そのやうな眼を四つ画べる事は自分には感心しないやうに思はれるのである。庭女(谷口夏美)(○○○)の少女期さこは眼をしてゐるのでいて見たらキヤベツ畑を通してゐるので力がはいつてゐる所だとのことである。可愛さうに、もう少し眼い物を持たせてはいけませんか。例へば絵世の仕人が一束の菊を活けて置いて

「ほんとうに嬉しいやだつたわ。」

と、いつたが、実は、この嬉しさに打ちのめされてゐるのは栄佐子の一人だけなので、さう言つてゐるあひだも、眼は殆んど休まずに輝いてゐるのだつた。

「ニヤオン、ニヤオン。」

と、春田は猫の鳴真似を繰返した。栄佐子はクスリと笑つた。町子は、

「お上手だわ。」

と、ひやかしたが、春田は褒められたと思つて、

「ニヤオン、ニヤーオン。」

「お隣のチョンの真似つくりだわ。」

「嘘いだらう。僕は動物の鳴真似は皆な十八番のつもりだ。猫人にだつて負けやしないぞ。」

「でもチョンの方が上手だわよ。」

「そりや僕は猫さ。チョンは本物の猫ちやないか。」

「まあ、まあ……」

と、栄佐子が笑ひ入れながら矢張りに笹鳴の猫の真似をしはじめた。

吉龍社展を観る

小森生

□■□■□

変幻のシーズン！爽快な秋の前奏曲の観覧者は色とりどりの

□■□■□

ろるなんての も好意的ではないせうか。じかし、このこはい眼をした少女の瞳が又ある意味においていいのかもしれない

□

六屋の朝、新宿の夜(○○○○)

これは現代の風景の描写である。現代の都会ではあるが未来にまで歴史を開いてゐるかどうかは疑問である。それは現代を批判する自覚を持つてゐないからである

札幌(四方田草炎)かういふものには、いろ〳〵た過去の見本もあるが、感じは却々大きい。花と子供(○○○○)酣白いものだ。ガソリン風景(山岡良文)ガソリン風景とは驚テコた題名まで新しい所をとらうか。繁栄化(小倉鼎子)技巧は年々歳々進まれるやうだが今年のは余程の刺子が弱いやうである。新緑風景(佐藤木彦)精具の調子の強い線で日本画として新しく生んだつもりであらうが香々の好べてゐる情緒からいふとかういふのは既に過去の観念であるやうに思はれる。

山茶花と人達(前田寛四郎)こりや却々面白いと思ふ。観察そのものの性質からいつてもすつかり抜けてゐる。彼石に先輩の仕事だけあるが、しかし根本的にいへば観察や才の仕事でカの観察ではない。もう一歩眼大の目といふのがある。裏みたいな大が四つ足をふんばつてゐるが、どうもあまり有難くない

□

甲斐の五月(○○○○)これも風景の写生画(坂口一草)自分はこの人の仕事はいつも一番まいと思つて感心して見てゐる。しかし画面をのものの持つ静の調さに至つてはこれはどうも本人の勉強で致し方もないのであらう。もう一つ秋花といふのがある立派な絵だがかういふのは又悪い意味での○○○○といふ眼も川来る柿(前田寛一)お上品な日本観察来ないのである。君も川端氏が御一時の力を有すると感ぜられるならばかういふ風な無技術で感せず、御二層○○○の観を捨てしなければならぬ。そして現代を超えて更に高き未来に飛躍し、民衆の方向を指し示すべきである

□

もう一つの立秋の画白い作だ。ういふ仕振も却々立派な一つの観術の分野だと思はれる。頭で感じたことをいへば犬の遠吠的に話しこうしの筆が○○平面的に思はれることである。他の後備軍諸君は後の○○○○

大稻埕本島人街にチフス壓倒的に發生

何が原因か、關係當局は語る

九月一日より二十六日迄に四十二名と云ふ前例の無い多數のチフス患者を出した、北部管内大稻埕本島人街は傳染病の絶えた日がないと云はれて來ただけに意外に思ふもの多く衛生當局及び識者一般に非常な關心を與へてゐるこのため臺北州衛生課では今後若し事態が今より悪化すれば市役所と協力の上全大稻埕に亙つて強制的豫防注射を斷行するとの決意を有し、所轄北署では飲食關係や家長會議で飲食物を煮沸すると共に戸口的檢疫調査に大體の努力を拂つてゐるが一方如何なる點でこれ迄あまり傳染しなかつた大稻埕本人街に感染になつてから急激的に發病者が增加して來たかとの原因についても熱心に研究中であるが、右に就いて關係當局は左の如く語つてゐる

衛生思想の缺乏

甚だしいのは道士が祈禱

宮川州衛生課長の談

先月の公會堂前で荷物が一段に積重された際に蚊が媒介となり來本島人間に傳染思想の缺乏せるものの多數患者を發生したり、病者の消毒を怠つたりするがありなほしきに至つては第七區は四百の全部を網羅に消毒する關係があるために因る第一點としての一例として擧げ

の發生し易き時に際して急激的に傳播したものであると思はれる、本島人間にかいて生物を食はないと云ふ事は勿論良い習慣で否し内地人の様に生物を食べてゐたら始めてチフス患者である事が明瞭した

▲市内下關時町二丁目四七番地　林陳氏愛(三五)

臺北北部衛生係關係醫で戸口的檢疫調査をなした總數二千七百一日の内方記三名のチフス患者發見べく患者を隔離し夫々傳染病院臺所生第三十一號により關する十五回に遡した

▲市内下關時町二丁目四五番地　林陳氏愛(三五)

臺北北部衛生係關係醫で戸口的檢疫調査をなした總數二千七百一日の内方記三名のチフス患者發見べく患者を隔離し夫々傳染病院臺所生第三十一號により關する十五回に遡した

▲市内下關時町二丁目四七番地　林氏愛(三五)

臺北北部衛生係關係醫で戸口的檢疫調査をなした總數二千七百一日の内方記三名のチフス患者發見べく患者を隔離し夫々傳染病院臺所生第三十一號により關する十五回に遡した

▲市内下關時町二丁目四七

漢文臺灣日日新報

聯盟總會第二次本會議
長岡大使當選副議長

二十六日發府電。國際聯盟第十二回總會第一日第一次本會議。二十六日午後五時四十分。在海牙市議事堂開會。總長杉村陽太郎外相渡理智塞氏。宣言選舉五個委員會。特別委員會委員長。當選決定。次選事副議長。日本齋藤小國策勳。議場緊張。自一時半開始投票。結局以來仍當選。此為欲緩和日蘇紛爭各國態度。

投票國　四十八
英代表賽克外相四十二票
尼加拉加代表麥德氏三十八票
本日本會議。以此告終。次回決定二十七日午後六開。

意國代表奴拉陀方四十二票
德代表長岡大使三十四票
日本代表長岡大使三十四票。六時三十分散會。

無異議承認。將實施期進前于十月一日實施。目下係員正忙于籌備。而市內欲受此貸出者。均望實施期決速。故現在經有聲明條約者。足見其資金如何枯人口驟增。如停車場至市街道路。自昨年來役所開道路。大呈混雜。夜間行商人。共設路店。僅二加熱閘。惟弘仁醫院至東門。公學校。移於農林學校。移於農會支會東門。公學校。而女公校地。將重新建築店鋪。預定本年度末。或新年度初。得以移轉云。

日俄石油賣買契約
廿四日在俄都締結

二十七日東京電。二十四日午次郎氏與駐俄石油輸出業聯組會長李氏之間。締結日俄石油貿易契約。內容。據二十六日某紙大電。協定九俄託販賣契約。日本主要都市五處。以日本發川。建造油槽。一、俄國從巴區輸送精製油。二、輸送運賃附稅。歸俄國負擔。三、日本對於實上。受取手數料。四、其上情算。於販賣後一個月。結帳支拂。五、輸入數量。每十萬噸。長期繼續行之。又日本市場。從來日本石油。小倉石油。三井。三菱之外。有美國三港。英國陌生產六社。猛烈購買。最近販賣協定成立。我國石油進出。今後競爭。愈見白熱化也。

瓦斯疑獄擴大
市議三名關係

二十七日東京電。東京瓦斯疑獄。又有八田熙氏（八田識組副組織長）參與。因氏謂市會議員方面。有連絡運動結果。同氏自白市議方面之資金。結局大神田市會議長。市會議員高橋義次兩氏。二十七日午前八時。被召喚於東京檢事局。恐此市會關係者與橋本信次郎氏云。

鮮米第一回
收穫豫想

二十七日京城電。朝鮮總督府發表。朝鮮米第一回收穫豫想額。千六百五十一萬八千五百九十石。此前年增加六十五萬五千五百九十一石（四分一厘）。

神戶滙水

二十九日神戶電。滙水昨日新高。今朝入電。美日滙水更超十二仙二分一。唱二十四弗十二仙二分一。寄附對美二十三弗八分七厘。二十四弗四分一厘。後因上海對日起一兩錢。且生絲手形出超殺到。漸次高昂。正午二十四弗四分一厘。二十四弗八分三厘會散夕。

有吉大使
捧呈國書

二十七日上海電。有吉公使。對國民政府。敬捧呈國書。二十七日午前九時。於軍艦內會議席。國民政府。敬捧呈國書。有吉公使。答辭。內容記官。以下公表。

時評

○

高松宮殿下。近臨九州。關東軍。從而指揮。滿洲不出關。發不得。不管台於英國之輿論。

○

西藏軍。入獨入境。所至慨如何。

○

釜島各地。依例祭聖。典拓務陸軍兩省。諸移轉軍於滿洲。給以武器。極緊匪賊。彷彿與屯田同制。

○

其意協定。如斯迎士。感資云。

○

新竹商業美術展閉

既報新竹商業美術展覽會。自二十三日起開會。當日入場觀覽者一萬二千餘人。二十四日萬六千餘人。二十五日萬四千二百餘人。

嘉義市二校移轉
女公校地將築店舖
廢止臺南州農會支會

嘉義市內。最近數年間。日增。由茶業公司聯合名目。各茶業公司。選出技術優秀者五名。于白鬼湖大坑茶業公司。開第一回。于南港大坑茶業公司。開第二回。于十月一日。實施。目下係員正忙于籌備。而市內欲受此貸出者。均望實施期決速。故現在經有聲明條約者。足見其資金如何枯人口驟增。如停車場至市街道路。自昨年來役所開道路。大呈混雜。夜間行商人。共設路店。僅二加熱閘。惟弘仁醫院至東門。公學校。移於農林學校。移於農會支會東門。公學校。而女公校地。將重新建築店舖。預定本年度末。或新年度初。得以移轉云。

計畫臺南運河
辦理船舶
給水事務

臺南州水產會。參與州下漁業振興。不措曖昧。今回計畫於臺南運河。辦理船舶給水事務。九州下之漁船。來停是處者。悉欲供給其用水。不取其值。而對於其他之進出船舶給水。仍收其實費。每噸約十五錢。蓋該處船舶之給水。從前皆由安平公會轉賣於人。利益。取僧奇昂。每噸由市端給僅十五錢。而給於船舶。則徵四十錢。以是營利不平之聲。絕食反對。陳者那水產會之出新舉。一般俱告便利。然所費當不資云。

嘉社大會
朴雅奪幟
來春在嘉義

嘉社第十五回秋季聯吟大會。去十五日午前十時開于朴子街朴子。蔡錦棟氏新築屋樓。場外大書嘉社聯吟大會々場。懸多數國旗。及設臨時廁。場內結主催社朴雅社旗。掛數幅書畫。並陳列盆栽。社聯吟大會々場。懸多數國旗。及設臨時廁。場內結主催社朴雅社旗。掛數幅書畫。並陳列盆栽。社聯吟大會々場。懸多數國旗。及設臨時廁。場內結主催社朴雅社旗。掛數幅書畫。並陳列盆栽。社聯吟大會々場。懸多數國旗。及設臨時廁。場內結主催社朴雅社旗。掛數幅書畫。並陳列盆栽。

中等學校教員
無資格者行見一掃
對校長會議指示

其方針。因而近來。此等無資格教員。農于一掃。農林農業學校。故將農林學校。移於農會支會。使學校。移於農林學校。移於農會支會。使學校。移於農林學校。移於農會支會。使學校。移於